

## バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】富岡町バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km <sup>2</sup> )
5	2005.9.29			福島県	富岡町	15,910	68.47
構想の要約		『やってみっぺ！富岡スローフード』を目指し、地域から発生する生ごみ、パーク、もみがら等を利用したい肥を生産し、土づくりを基本とした特別栽培米を推進する。これにより、安心・安全な富岡産農産物の需要拡大を図り、基幹産業としての農業を育成する。					
構想に盛り込まれた事業		堆肥化施設を整備 堆肥化施設の本格稼働					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス						
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス			資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物		
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部				
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材				
廃食用油		果樹剪定枝				
水産加工残さ	○	竹材				
製材工場等残材	○	その他( )				
建設発生木材						
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○					
古紙・廃棄紙						
下水汚泥など	○					
その他( )						

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化		直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他( )		炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	
		バイオディーゼル燃料化	
		バイオエタノール化	
		その他( )	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2010.07.27	農村振興局助成措置:平成17-20年度、(株)タカヤマ、食品残さ、もみ殻等堆肥化施設の整備

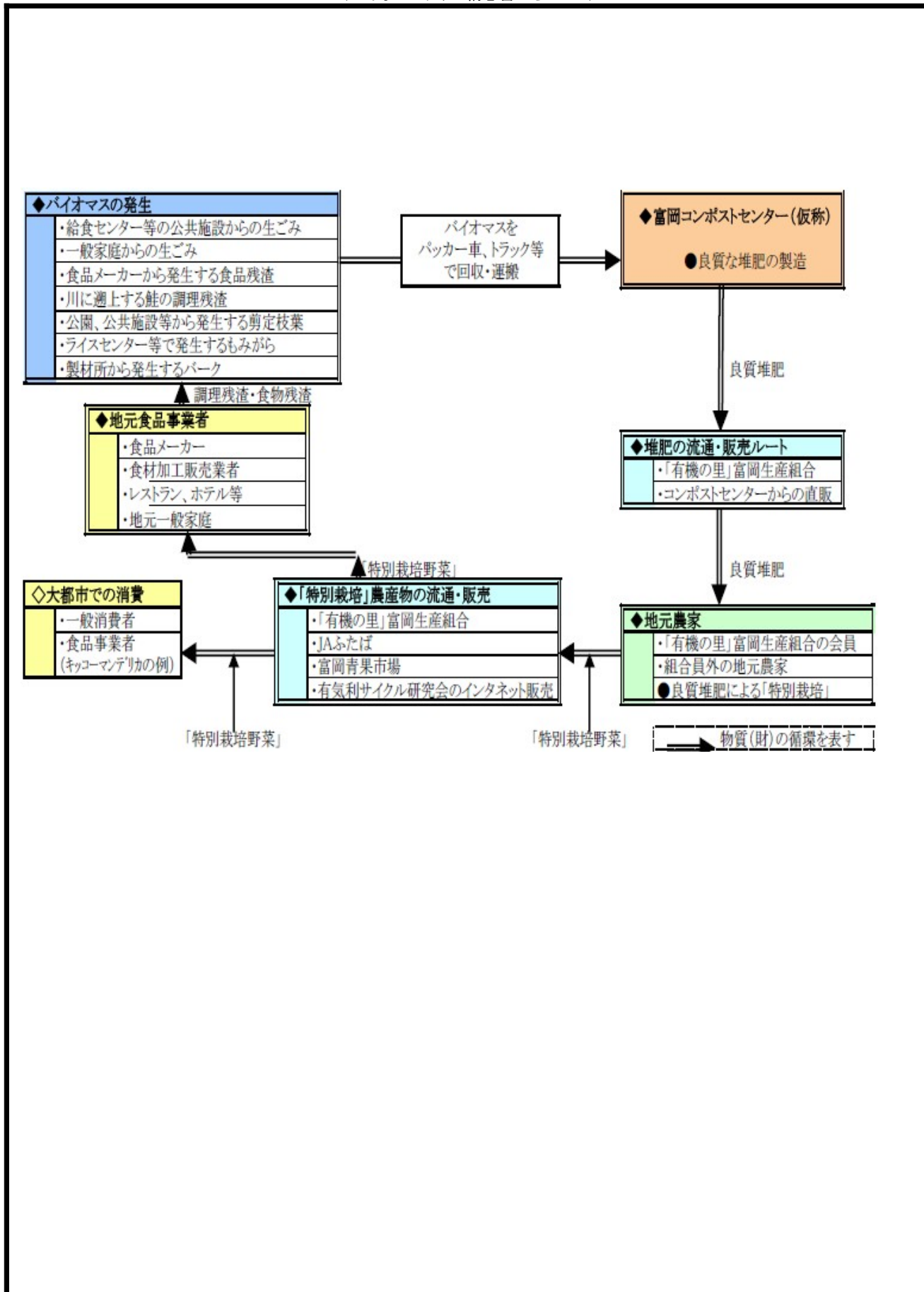
実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

**バイオマス利活用目標**  
(バイオマスタウン構想書からコピー)

(廃棄物系 バイオマス)	賦存量		変換処理方法	仕向量		利用販売	利用率
	湿潤量	炭素換算		湿潤量	炭素換算		
生ごみ(家庭系)	800 t	35,360	一部堆肥化	400 t	17,680	農地還元	50%
生ごみ(事業系)	200 t	8,840	一部堆肥化	140t	6,190	農地還元	70%
鮭の残渣	10 t	422	堆肥化	10 t	422	農地還元	100%
パーク(樹皮)	2,000 t	445,480	一部堆肥化	1,800 t	400,932	農地還元	90%
剪定枝葉	250 t	55,685	堆肥化	250t	55,685	農地還元	100%
下水汚泥	1,000 t	96,000	炭化	900 t	86,400	農地還元	90%
畜産廃棄物	2,800 t	167,076	一部堆肥化	2,800 t	167,076	農地還元	100%
小計	7,060 t	808,863		6,300t	734,385		90.8%
(未利用バイオマス)							
もみがら	900 t	257,670	一部堆肥化	850 t	243,355	農地還元	94.4%
稲わら	4,300 t	1,231,090	一部堆肥化	4,000 t	1,145,200	農地還元	93.0%
林地残材	640 t	142,554	未利用	0	0		0%
小計	5,840 t	1,631,314		4,850 t	1,388,555		85.1%
合計	12,900	2,440,177		11,150 t	2,122,940		87.0%

# バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)



## 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

	添付別紙(パンフレット等)参照 (事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)
事業の概要	